

IR資料

-2026年3月期 第2四半期-

2025年11月10日

ニプロ株式会社

事業の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2025年度1H 業績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

販売費および一般管理費 主要科目・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

研究開発費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

設備投資額・減価償却費・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

為替影響を除いた損益比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

セグメント売上高・セグメント利益・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

①医療関連セグメント（国内）売上高・・・・・・・・・・・・・・ 10

①医療関連セグメント（国際）売上高・・・・・・・・・・・・・・ 11

②医薬関連セグメント 売上高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

③ファーマパッケージングセグメント 売上高・・・・・・・・・・・・ 13

為替レート/為替感応度/製品分類表・・・・・・・・・・・・・・ 15

セグメント別・製品群別の売上高・・・・・・・・・・・・・・ 16

セグメント別・地域別の売上高・・・・・・・・・・・・・・ 17

製品別売上高・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18,19

事業の概況

製造

2025年度のダイアライザラインの新設は下記の通り。
秋田大館工場においては2025年4月に11ライン目、2025年10月にFBダイアライザの7ライン目が新規稼働開始しました。

2025												2026			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1~3	4~6	7~9	10~12
			大館工場 ダイアライザ 11ライン目 新規稼働						大館工場 FBダイアライザ 7ライン目 新規稼働				ベトナム ダイアライザ 1ライン目 新規稼働予定		ベトナム ダイアライザ 2ライン目 新規稼働予定

販売

透析用医療機器 | 国内は、ファインフラックスの限定出荷の影響により前年対比で減少。
海外は、アジアが前年対比で横ばいとなったものの、米州ではダイアライザ、透析装置の安定的な受注継続により増加、欧州では高機能ダイアライザの販売好調、中国では集中購買により、販売数量が増加。透析用医療機器全体としては、前年対比で増加。

バスキュラー関連製品 | 国内は、薬剤溶出バルーンの市場拡大により販売増加、また本格発売を開始した末梢用のバルーンカテーテル製品が好調に推移。
海外は、欧州で販売が堅調に推移。

自社医薬品 | 経口剤は品目集約と薬価下落の影響により減少、外用剤・貼付剤はブデホル吸入粉末剤で原薬納入遅延等の影響を受けたことにより減少。
注射剤・輸液は出荷が好調に推移したことにより増加。

受託医薬品 | 抗がん剤の前年比増加に加え、新規受託品の伸長および既存受託品の価格転嫁をおこなったものの、選定療養制度による一部長期収載品の数量減や受託品の販売終了の影響等もあり、前年対比では減少。

ファーマパッケージング | 国内はガラス管・歯科領域向け製品などの受注増も、世界的な在庫過多の影響を受け、米国でバイアル、欧州で滅菌済シリンジの販売数量減となり、全体では前年対比で減少。

2025年度1H 業績

	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想	四半期別業績推移				
					2024年度			2025年度	
					2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	3,120.1	3,173.8	+53.6 +1.7%	6,770.0	1,600.3	1,672.6	1,653.0	1,592.2	1,581.6
売上原価	2,176.7	2,172.6	▲4.1 ▲0.2%	4,710.0	1,111.8	1,158.8	1,201.4	1,090.6	1,081.9
売上総利益 (※1)	943.4 30.2%	1,001.1 31.5%	+57.7 +6.1%	2,060.0 30.4%	484.3 30.3%	513.8 30.7%	451.6 27.3%	501.5 31.5%	499.6 31.6%
販売管理費	808.8 25.9%	847.8 26.7%	+39.0 +4.8%	1,690.0 25.0%	407.6 25.5%	426.3 25.5%	407.6 24.7%	429.4 27.0%	418.3 26.5%
営業利益	134.5 4.3%	153.3 4.8%	+18.7 +14.0%	370.0 5.5%	76.7 4.8%	87.4 5.2%	43.9 2.7%	72.1 4.5%	81.2 5.1%
経常利益 (※2)	44.9 1.4%	82.3 2.6%	+37.4 +83.3%	242.0 3.6%	▲19.2 ▲1.2%	95.1 5.7%	▲31.9 ▲1.9%	35.1 2.2%	47.1 3.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.2 0.0%	59.0 1.9%	+57.7 +4468.4%	129.5 1.9%	▲24.9 ▲1.6%	64.6 3.9%	▲14.8 ▲0.9%	32.7 2.1%	26.3 1.7%

(※1) 売上総利益への
未実現利益の影響額
2024年度1H ▲23.5億円
2025年度1H +11.0億円

(※2) 為替損益
2024年度1H ▲47.0億円
2025年度1H ▲13.0億円

売上高 | 海外医療関連事業において、ダイアライザの販売が米州、欧州、中国にて好調。
またB2B事業において、セーフタッチPSVの販売増加もあり、前年対比53.6億円増加。

売上総利益 | 労務費が増加したものの、価格転嫁や、赤字品の終売、原材料費の上昇が抑制されたことにより、前年対比で57.7億円増加。

営業利益 | 国内外で人件費が増加したほか、北中南米・欧州における運賃の増加により販売管理費は増加したものの、販売増に加え、売上原価（原材料費）の上昇を抑制できた影響が大きく、前年対比で18.7億円増加。

経常利益 | 前年度は為替差損が47.0億円計上されていたものの、今年度は為替差損が13.0億円の計上となり、為替差損が34.0億円減少したことにより、前年対比で37.4億円増加。

当期純利益 | 再生医療事業の研究・製造拠点（東京CPF※）の土地譲渡（施設は賃貸借契約により継続使用、操業に変更なし）により、41.4億円の固定資産売却益を計上したことから、前年対比で57.7億円増加。 ※CPF：Cell Processing Facility（細胞培養施設）



販売費および一般管理費 主要科目

単位:億円	2024年度 1H	2025年度 1H		増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
		実績	構成比		
人件費	263.8	282.5	33.3%	+18.7 +7.1%	565.3 50.0%
研究開発費 (※1)	103.2	105.6	12.5%	+2.4 +2.4%	208.2 50.8%
運送費	74.5	83.7	9.9%	+9.1 +12.3%	176.9 47.3%
償却費 (※2)	75.9	70.7	8.3%	▲5.2 ▲6.9%	155.1 45.6%
支払手数料 (※3)	49.3	53.2	6.3%	+3.9 +7.9%	109.7 48.6%
販促費 (※4)	44.3	50.1	5.9%	+5.8 +13.1%	84.1 59.6%
旅費交通費	22.1	24.6	2.9%	+2.4 +11.1%	51.3 48.0%
保管料	19.6	20.4	2.4%	+0.8 +4.3%	39.0 52.5%
上記以外の科目	155.7	156.5	18.5%	+0.8 +0.5%	300.4 52.1%
合計	808.8	847.8	100.0%	+39.0 +4.8%	1,690.0 50.2%

(※1) 研究開発費・試験研究費・開発償却費
(※2) 減価償却費・のれん償却費
(※3) 支払手数料・顧問料
(※4) 販売手数料・見本品費・広告宣伝費・交際接待費

人件費 | 国内外で従業員の増加やベースアップ等の影響により、前年対比で18.7億円増加。

運送費 | 北中南米・欧州における海外運賃の増加により、前年対比で9.1億円増加。

販促費 | 大阪・関西万博のパビリオン出展費用等により、前年対比で5.8億円増加。



研究開発費

	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想
単位:億円				
医療 (※1)	70.2	74.6	+4.4 +6.3%	151.7 49.2%
医薬 (※1)	45.2	43.9	▲1.2 ▲2.8%	91.1 48.3%
ファーマ パッケージング (※1)	2.9	2.3	▲0.5 ▲20.2%	7.2 32.6%
合計 (※2)	118.4	121.0	+2.5 +2.1%	250.0 48.4%

(※1) 今年度より会計基準における研究開発費の定義に基づき集計方法を改めたため、前年度の数値も修正しています。
(※2) 製造原価および販売管理費における研究開発費製造原価

医療 | バスキュラーの製品開発等により、前年対比で4.4億円増加。

医薬 | 委託研究費の減少により、前年対比で1.2億円減少。

ファーマパッケージング | 前年対比で微減。

設備投資額・減価償却費

	設備投資額				減価償却費			
	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円								
医療関連	205.8	148.5	▲57.3 ▲27.9%	336.2 44.2%	165.6	178.6	+13.0 +7.9%	388.0 46.1%
医薬関連	115.8	60.1	▲55.7 ▲48.1%	257.2 23.4%	75.1	69.1	▲6.0 ▲8.0%	143.9 48.0%
ファーマパッケージング	39.2	24.6	▲14.5 ▲37.1%	62.2 39.7%	36.7	29.6	▲7.0 ▲19.3%	69.7 42.5%
その他	17.4	9.7	▲7.7 ▲44.0%	51.6 19.0%	24.8	24.0	▲0.7 ▲2.9%	47.6 50.6%
合計	378.4	243.1	▲135.3 ▲35.8%	707.1 34.4%	302.3	301.5	▲0.8 ▲0.3%	649.2 46.4%

設備投資額

医療関連は大館工場でダイアライザ新規ラインの増設に約30億円、ベトナム工場で19.9億円、また透析センター内の装置や備品に23.8億円を投資し、全体としては148.5億円となったが、昨年度に大館工場や合肥工場にてダイアライザ関連の投資の大部分が完了したことで、前年対比では57.3億円減少。

医薬関連はニプロファーマ近江工場の一般製剤棟に31億円、伊勢工場の増設に4.3億円の投資等があったものの、昨年度は近江工場の拡張投資等があったことにより、前年対比では55.7億円減少。

ファーマパッケージングは、フランス工場の設備投資に6.1億円、ドイツ工場の能力増強に7.3億円、またアメリカ工場の改修投資に5.3億円等、合計24.6億円の投資を実施した一方で、昨年度はアメリカ工場の拡張投資や、ドイツにてシリンジ増産投資等があったことにより、前年対比では14.5億円減少。

減価償却費

医療関連は、大館工場における第7工場の新設により増加したものの、医薬関連におけるニプロファーマの機械装置に係る償却減、ファーマパッケージングにおけるフランスの減損損失も影響し、減価償却費は前年度並みに推移。

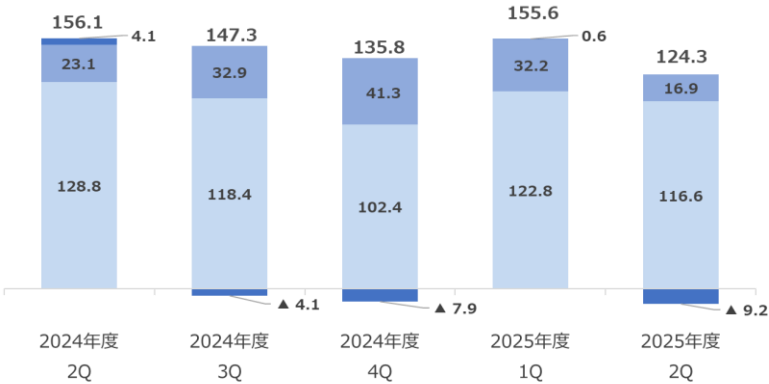
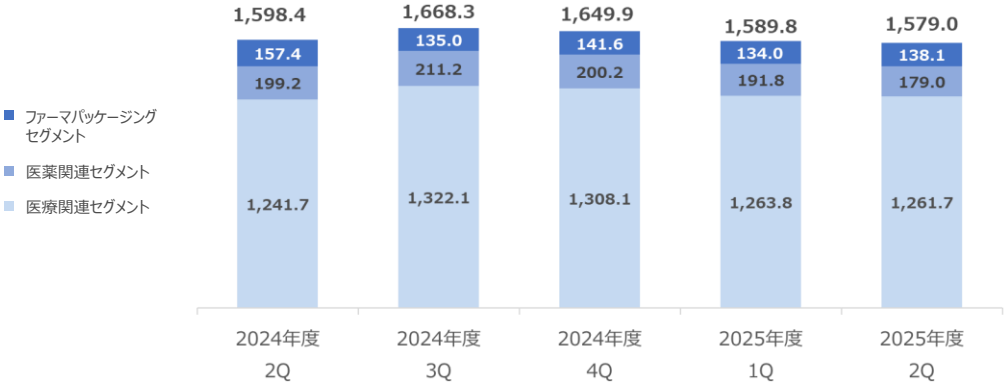
為替影響を除いた損益比較

	2024年度1H	2025年度1H	為替の影響 (※)	影響を除いた 2025年度	増減率
単位：億円	【a】	【b】	【c】	【d=b-c】	【d÷a】
売上高	3,120.1	3,173.8	▲63.3	3,237.1	+3.8%
売上原価	2,176.7	2,172.6	▲40.8	2,213.4	
売上総利益	943.4	1,001.1	▲22.4	1,023.6	+8.5%
(%)	30.2%	31.5%		31.6%	
販管費	808.8	847.8	▲18.3	866.2	
営業利益	134.5	153.3	▲4.1	157.4	+17.0%
(%)	4.3%	4.8%		4.9%	
営業外収益	26.0	25.1		25.1	
営業外費用	115.7	96.2	▲33.9	130.1	
経常利益	44.9	82.3	+29.8	52.5	+16.9%
特別利益	1.7	67.0		67.0	
特別損失	6.2	24.9		24.9	
税引前利益	40.5	124.4	+29.8	94.6	+133.7%
法人税等	32.3	58.1	+13.9	44.2	
非支配株主に 帰属する純利益	6.8	7.2		7.2	
当期利益	1.2	59.0	+15.8	43.1	+3239.3%

※ 昨年レートとの差額で外貨取引合計を円換算。円貨取引における為替の影響は考慮していません。

セグメント売上高・セグメント利益

	セグメント売上高				セグメント利益				
	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 5月時点 (利益率)	2025年度 通期予想 11月時点 (利益率)
単位：億円									
医療関連セグメント	2,420.5	2,525.6	+105.1 +4.3%	5,334.2 47.3%	245.4	239.4	▲5.9 ▲2.4%	533.9 10.0%	533.9 10.0%
医薬関連セグメント	379.8	370.8	▲8.9 ▲2.3%	863.7 42.9%	31.9	49.1	+17.2 +54.0%	107.8 12.5%	107.8 12.5%
ファーマパッケージングセグメント	315.9	272.2	▲43.7 ▲13.8%	568.0 47.9%	9.3	▲8.6	▲17.9 ▲192.5%	3.5 0.6%	▲20.6 ▲3.6%



医療関連セグメント

売上高が増加したことに加え、原材料費の上昇が抑制されたものの、減価償却費や労務費・人件費、運送費が増加し、事業全体のセグメント利益は前年対比で5.9億円減少。

医薬関連セグメント

売上高は減少したものの、減価償却費等の売上原価の減少、原材料価格・人件費上昇コストの価格転嫁による値上げや赤字品の終売により利益率向上させ、事業全体のセグメント利益は前年対比で17.2億円増加。

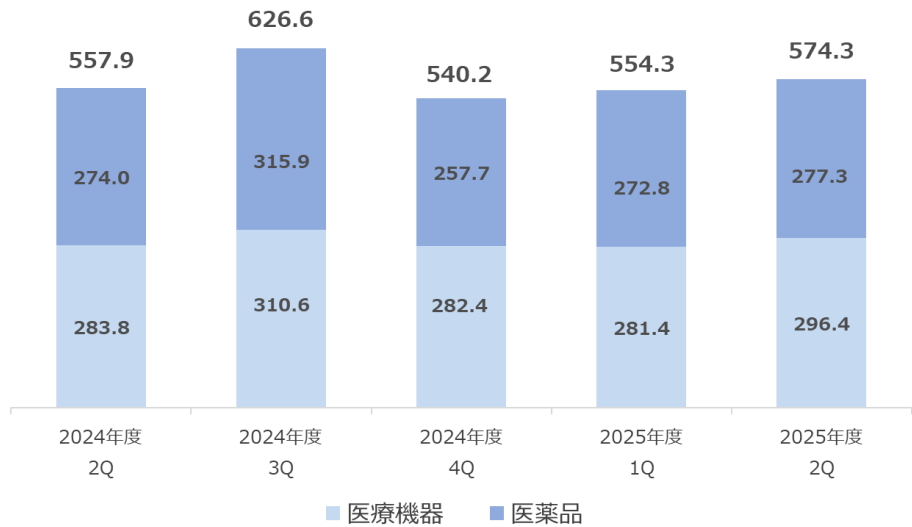
ファーマパッケージングセグメント

売上高の減少により、セグメント利益は前年対比で17.9億円減少。

①医療関連セグメント（国内）売上高

売上高	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想
単位：億円				
国内事業	1,110.6	1,128.6	+17.9 +1.6%	2,439.8 46.3%
医療機器	565.4	577.9	+12.4 +2.2%	1,261.7 45.8%
医薬品	545.2	550.1	+4.9 +0.9%	1,178.1 46.7%

四半期別売上高推移



医療機器

ダイアライザはファインフラックスの限定出荷の影響により販売数量が減少し、前年対比で5.6億円減少。

透析機器では出荷量が減少したことによる影響で前年対比で3.0億円減少。

注射針類・輸液関連製品においては、価格転嫁を実施したことにより、注射針類では前年対比で8.6億円増加。輸液関連製品では前年対比で4.1億円増加。

バスキュラー関連製品は、薬剤溶出バルーンの適応拡大による市場拡大により堅調に販売回復、また本格発売を開始した末梢用のバルーンカテーテル製品が好調に推移し、売上は前年対比で2.8億円増加。

医薬品

経口剤は赤字品目の品目集約とネキシウムAGを含む薬価下落が引き続き影響したことにより前年対比で11.5億円減少。

注射剤・輸液はタゾピペや生食注シリンジの限定出荷が解除されたことに加え、ペグフィルグラスチムBSやスガマデクスの出荷量が好調であることにより、前年対比で29.4億円増加。

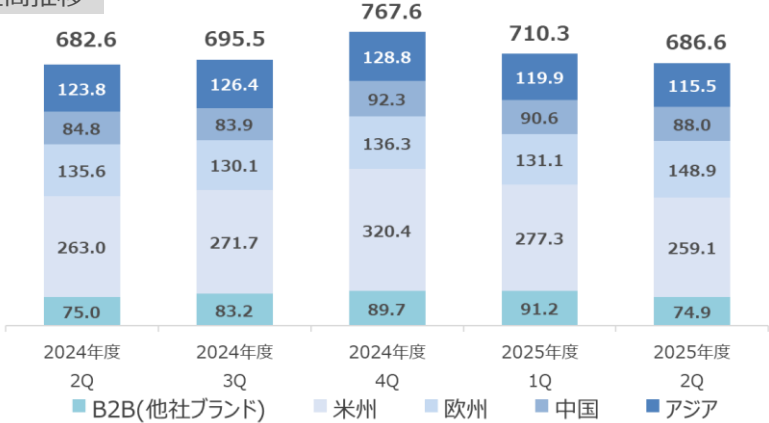
外用剤・貼付剤は一部で限定出荷が解除されたものの、ブデホル吸入粉末剤・ロキソプロフェンテープの出荷量の減少が引き続き影響し、前年対比で8.9億円減少。

体外診断薬関連製品では感染症が小康状態であることが影響し、抗原検査キットの販売数量が低迷したことで、前年度対比4.1億円減少。

①医療関連セグメント（国際）売上高

売上高	2024年度	2025年度	増減額	2025年度
	1H	1H	(増減率)	通期予想
	単位：億円			(進捗率)
国際事業	1,309.5	1,397.0	+87.4	2,894.1
			+6.7%	48.3%
B2B(他社ブランド)	156.8	166.1	+9.2	355.9
			+5.9%	46.7%
ニプロブランド	1,152.6	1,230.8	+78.2	2,538.2
			+6.8%	48.5%
米州	486.7	536.5	+49.8	1,060.1
			+10.2%	50.6%
欧州	258.5	280.1	+21.5	562.1
			+8.3%	49.8%
アジア	242.1	235.4	▲6.6	536.2
			▲2.7%	43.9%
中国	165.2	178.6	+13.4	379.8
			+8.1%	47.0%

四半期別売上高推移



B2B（他社ブランド）

米州、欧州における安全機構付き採血セットの販売が好調であった一方、GLP-1向け特殊針は、同製剤自体の乱立によって需要鈍化となるも前年並みの予想。B2B全体では前年対比で9.2億円増加。

ニプロブランド

米州

ダイアライザや透析装置、透析液は大型契約、入札獲得等により増加し、米州全体では前年対比で49.8億円増加。

欧州

ダイアライザの販売増加に加え、透析装置は西欧諸国、アフリカにて好調、透析液は西欧諸国等において増加、バスキュラー関連製品も販売好調であり、欧州全体では前年対比で21.5億円増加。

アジア

ダイアライザは中東地域入札等の影響で増加、またフィリピンにおける透析償還価格の値上げにより、透析センター数が増加。これに伴い、透析装置販売が好調。一方、インドネシアでは、ダイアライザのシングルユース化が政策の影響等でスローペースとなり、一時的に在庫調整が生じたほか、インド、中東の透析機器は昨年大型入札の反動により減少し、アジア全体では前年対比で6.6億円減少。

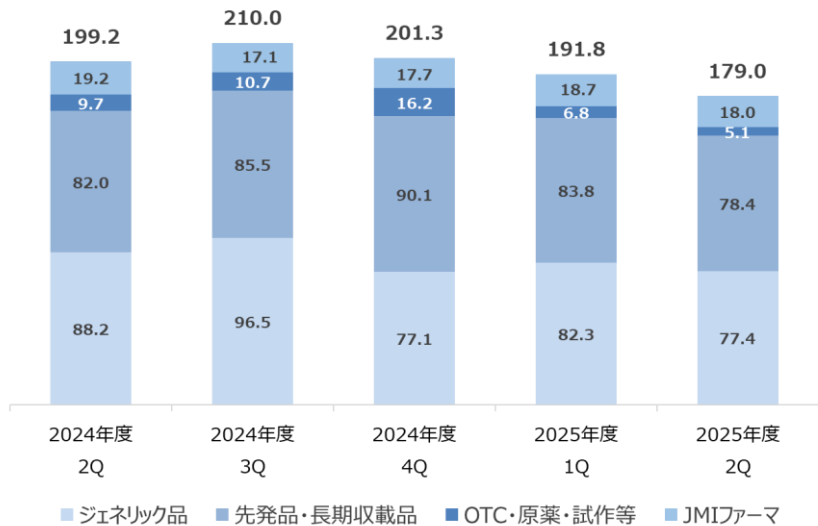
中国

ダイアライザは集中購買が本格的に開始され販売数量が増加したことに加え、透析センターの売上は患者数増加や透析センター拡大に伴い好調に推移し、中国全体では前年対比で13.4億円増加。

②医薬関連セグメント 売上高

売上高	2024年度	2025年度	増減額	2025年度
	1H	1H	(増減率)	通期予想
	単位：億円			(進捗率)
医薬関連事業	379.8	370.8	▲ 8.9	863.7
			▲2.3%	42.9%
ジェネリック品	161.7	159.8	▲1.8	318.7
			▲1.1%	50.2%
先発品・長期収載品	159.0	162.3	+3.2	430.6
			+2.1%	37.7%
OTC・原薬・試作等	20.7	11.9	▲8.7	37.5
			▲42.4%	31.8%
JMIファーマ	38.3	36.7	▲1.5	76.9
			▲4.1%	47.8%

四半期別売上高推移



ジェネリック品

注射剤は、主力抗がん剤の受注増により、前年対比で6.8億円増加。

経口剤は、受注減により、前年対比で4.2億円減少。

外用剤は、受託終了品目の影響により、前年対比で4.5億円減少。

先発品・長期収載品

注射剤は、新規受託品の販売伸長をはじめ、既存品目についても受注増や価格転嫁の実施により、前年対比で14.0億円増加。

経口剤は、選定療養制度の影響を受けた長期収載品の受注数減少により、前年対比で4.5億円減少。

外用剤は、受注減により、前年対比で6.2億円減少。

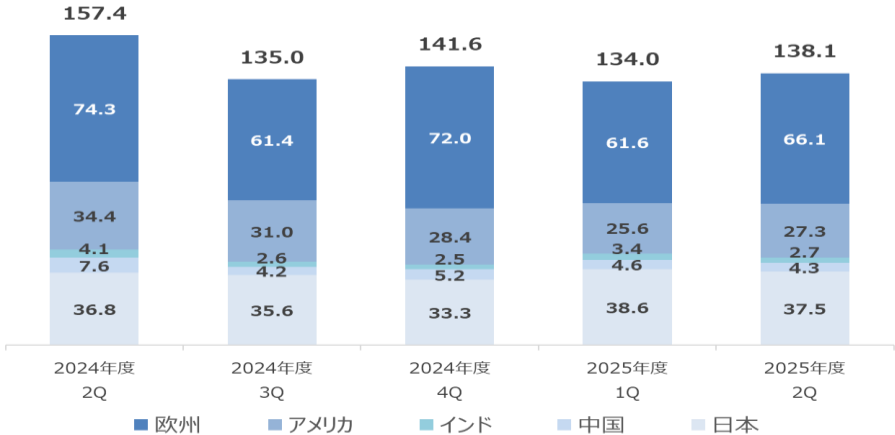
OTC・原薬・試作等

OTC外用剤の受託終了品目の影響により前年対比で8.7億円減少。

③ファーマパッケージングセグメント 売上高

売上高	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円				
ファーマパッケージング事業	315.9	272.2	▲43.7 ▲13.8%	567.9 47.9%
日本	74.0	76.1	+2.1 +2.9%	145.9 52.2%
海外	241.9	196.0	▲45.8 ▲19.0%	422.0 46.5%
欧州	147.3	127.7	▲19.5 ▲13.3%	286.5 44.6%
アメリカ	70.2	53.0	▲17.2 ▲24.5%	117.1 45.3%
中国	15.0	8.9	▲6.0 ▲40.1%	4.3 209.3%
インド	9.3	6.2	▲3.0 ▲32.7%	13.9 45.2%

四半期別売上高推移



日本

ガラス管が2024年10月の価格改定後も販売数を維持、また歯科領域向け製品が売上増加し、全体では前年対比で2.1億円増加。

海外

欧州

ダブルチップタイプのアンブルは拡販努力により、販売好調であった一方、昨年度に好調であった滅菌済シリンジは新規参入企業の影響などを受け売上が減少し、全体では前年対比で19.5億円減少。

アメリカ

ガラス管は、バイオ医薬品関連の販売が順調に推移したものの、バイアルは、依然として世界的なガラス容器の在庫調整の影響を受け、全体では前年対比で17.2億円減少。

Appendix

為替レート / 為替感応度 / 製品分類表

＜期中平均レート＞

	FY2024				FY2025				計画
	1月-3月	1月-6月	1月-9月	1月-12月	1月-3月	1月-6月	1月-9月	1月-12月	
¥/USD	149.88	154.06	151.59	152.24	151.21	147.48	—	—	139.00
¥/EUR	162.15	166.12	164.61	164.36	159.35	162.24	—	—	158.00
¥/CNY	20.74	21.25	21.05	21.12	20.75	20.34	—	—	20.00

＜期末日レート＞

	FY2024 9月末	FY2025 9月末
¥/USD	142.73	148.88
¥/EUR	159.43	174.47
¥/CNY	20.46	20.88

＜1円変動による年間影響額＞

単位：億円	売上高	営業利益
¥/USD	10.1	0.5
¥/EUR	6.0	2.3
¥/CNY	18.4	8.4

＜製品分類表＞

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連	血液回路、AVFニードル（翼付留置針） 他
注射針類	PSVニードル（翼付留置針）、セーフタッチニードル 他
バスキュラー関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
輸液関連製品	輸液セット、IVカメラ 他
検査製品	ネオチューブ 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器（海外向け）、ランセット
SD関連製品	補助人工心臓、人工肺
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他

医薬品区分	
経口剤	経口剤
注射剤・輸液	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤、貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他
ファーマパッケージング区分	
ガラス管関連	医薬用ガラス管、非医療用ガラス管
ガラス アンプル	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
ガラス バイアル	バイアル（ブローバック、スクリュウ等）
ガラス シリンジ	シリンジ（ルアーロック、ルアースリップ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用ガラス
その他	ガラス容器その他、特殊ガラス容器、ガラス カートリッジ、その他など

セグメント別・製品群別の売上高

製品	セグメント	医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパッケージング 事業	その他 事業	合計
	単位：億円					
医療機器	2025年度1H	1,884.4	-	(※3) 23.0	-	1,907.5
	2024年度1H	1,801.3	-	(※3) 22.9	-	1,824.3
医薬品	2025年度1H (※1)	641.1 (※2)	370.8	4.7	-	1,016.8
	2024年度1H (※1)	617.4 (※2)	379.8	3.1	-	1,000.4
ファーマパッケージング	2025年度1H	-	-	243.8	-	243.8
	2024年度1H	1.5	-	289.1	-	290.6
その他	2025年度1H	0.0	-	0.5	4.9	5.6
	2024年度1H	0.1	-	0.7	3.8	4.7
合計	2025年度1H	2,525.6	370.8	272.2	4.9	3,173.8
	2024年度1H	2,420.5	379.8	315.9	3.8	3,120.1

(※1) 自社ジェネリック医薬品
 (※2) 受託製造医薬品
 (※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品

セグメント別・地域別の売上高

セグメント		医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパッケージング 事業	その他 事業	合計
地域	単位：億円					
日本	2025年度1H	1,130.7	331.6	76.2	4.8	1,543.5
	2024年度1H	1,112.6	337.6	74.1	3.8	1,528.2
海外計	2025年度1H	1,394.9	39.2	195.9	0.1	1,630.3
	2024年度1H	1,307.8	42.1	241.8	-	1,591.9
米州	2025年度1H	590.1	-	52.0	0.1	642.2
	2024年度1H	533.1	-	69.0	-	602.2
欧州	2025年度1H	348.3	2.1	127.0	-	477.5
	2024年度1H	311.9	1.6	145.6	-	459.2
中国	2025年度1H	179.6	0.1	9.4	-	189.2
	2024年度1H	167.1	0.2	15.0	-	182.3
その他アジア	2025年度1H	276.8	37.0	7.4	-	321.2
	2024年度1H	295.5	40.3	12.1	0.0	348.0
合計	2025年度1H	2,525.6	370.8	272.2	4.9	3,173.8
	2024年度1H	2,420.5	379.8	315.9	3.8	3,120.1

製品別売上高（1）

		全社				海外				日本			
		2024年度 1H	2025年度 1H	増減額	増減率	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額	増減率	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額	増減率
単位：億円													
〔医療機器〕	ダイアライザ	519.3	548.5	+29.1	+5.6%	405.8	440.6	+34.7	+8.6%	113.4	107.8	▲5.5	▲4.9%
	透析機器	134.4	146.9	+12.5	+9.3%	102.2	117.7	+15.4	+15.2%	32.2	29.2	▲2.9	▲9.2%
	その他透析関連	299.1	319.2	+20.0	+6.7%	257.0	275.8	+18.8	+7.3%	42.1	43.3	+1.1	+2.8%
	透析関連製品計	952.9	1,014.7	+61.7	+6.5%	765.1	834.2	+69.1	+9.0%	187.8	180.4	▲7.3	▲3.9%
	注射針類（※）	289.8	314.2	+24.4	+8.4%	196.2	211.4	+15.2	+7.7%	93.6	102.8	+9.2	+9.9%
	バスキューラ関連製品	168.1	174.6	+6.4	+3.9%	46.5	49.2	+2.6	+5.7%	121.6	125.4	+3.8	+3.2%
	輸液関連製品	119.2	122.6	+3.3	+2.8%	50.9	50.6	▲0.2	▲0.5%	68.3	71.9	+3.6	+5.3%
	検査製品（※）	37.4	36.9	▲0.5	▲1.5%	21.1	18.3	▲2.7	▲12.9%	16.3	18.5	+2.1	+13.2%
	糖尿病関連製品	64.0	60.2	▲3.7	▲5.9%	58.0	53.6	▲4.3	▲7.6%	6.0	6.6	+0.6	+10.0%
	SD関連製品	49.6	51.4	+1.7	+3.6%	11.7	12.3	+0.6	+5.5%	37.9	39.0	+1.1	+3.0%
	その他	140.5	128.9	▲11.6	▲8.3%	84.2	73.9	▲10.3	▲12.2%	56.3	55.0	▲1.2	▲2.3%
	部 門 計	1,822.0	1,903.9	+81.8	+4.5%	1,233.9	1,303.8	+69.9	+5.7%	588.1	600.0	+11.9	+2.0%
〔医薬品(自社)〕	経口剤	236.2	224.7	▲11.4	▲4.9%	0.1	0.1	+0.0	+1.8%	236.0	224.5	▲11.4	▲4.9%
	注射剤・輸液	289.9	338.2	+48.2	+16.7%	70.3	89.2	+18.8	+26.8%	219.5	248.9	+29.4	+13.4%
	外用剤・貼付剤	35.7	26.7	▲8.9	▲25.0%	-	-	-	-	35.7	26.7	▲8.9	▲25.0%
	その他・体外診断薬 等	55.6	51.4	▲4.2	▲7.6%	1.7	1.5	▲0.1	▲8.2%	53.8	49.8	▲4.0	▲7.5%
	部 門 計	617.4	641.1	+23.6	+3.8%	72.2	90.9	+18.7	+25.9%	545.1	550.1	+4.9	+0.9%
〔再生医療〕	再生医療等製品	2.2	3.6	+1.3	+59.5%	-	-	-	-	2.2	3.6	+1.3	+59.5%

※当期より「検査製品」に含まれていた「採血針等」を「注射針類」に変更しています。

製品別売上高（2）

		全社				海外				日本			
		2024年度 1H	2025年度 1H	増減額	増減率	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額	増減率	2024年度 1H	2025年度 1H	増減額	増減率
単位：億円													
〔医薬品(受託)〕	経口剤	139.5	130.8	▲8.6	▲6.2%	0.3	0.2	▲0.1	▲33.0%	139.1	130.6	▲8.5	▲6.2%
	注射剤・輸液	160.1	183.3	+23.2	+14.5%	2.8	1.6	▲1.2	▲41.7%	157.2	181.6	+24.4	+15.5%
	外用剤・貼付剤	33.1	14.9	▲18.2	▲55.0%	0.3	0.3	+0.0	+0.4%	32.8	14.6	▲18.2	▲55.5%
	その他・体外診断薬 等	11.8	9.7	▲2.0	▲17.1%	+0.3	0.3	+0.0	-	11.4	9.4	▲2.0	▲17.6%
	部 門 計	344.6	338.9	▲5.7	▲1.7%	3.8	2.5	▲1.3	▲34.0%	340.8	336.3	▲4.4	▲1.3%
〔医薬品(JMIP)〕	経口剤	37.9	36.3	▲1.6	▲4.3%	37.9	36.3	▲1.6	▲4.3%	-	-	-	-
	注射剤・輸液	0.3	0.3	+0.0	+9.2%	0.3	0.3	+0.0	+9.2%	-	-	-	-
	部 門 計	38.3	36.7	▲1.5	▲4.1%	38.3	36.7	▲1.5	▲4.1%	-	-	-	-
〔ファーマパッケージング〕	ガラス管関連	71.1	62.7	▲8.3	▲11.7%	58.1	49.2	▲8.9	▲15.3%	12.9	13.5	+0.5	+4.3%
	ガラス アンブル	45.4	39.1	▲6.2	▲13.7%	45.3	39.0	▲6.2	▲13.7%	0.1	0.0	+0.0	▲15.2%
	ガラス バイアル	85.1	61.1	▲23.9	▲28.1%	74.9	50.8	▲24.0	▲32.1%	10.1	10.3	+0.1	+1.1%
	ガラス シリンジ	52.2	39.8	▲12.4	▲23.7%	52.2	39.6	▲12.5	▲24.0%	0.0	0.1	+0.1	+166.9%
	ゴム栓・栓体類	7.1	7.7	+0.6	+8.5%	0.0	0.0	+0.0	+157.6%	7.1	7.7	+0.5	+8.2%
	プラスチック容器	10.5	10.6	+0.0	+0.7%	0.0	-	+0.0	▲100.0%	10.5	10.6	+0.0	+0.7%
	魔法瓶	2.8	2.9	+0.0	+3.1%	-	-	-	-	2.8	2.9	+0.0	+3.1%
	その他	16.1	19.4	+3.3	+20.7%	12.5	16.7	+4.1	+33.1%	3.5	2.7	▲0.8	▲23.1%
	部 門 計	290.6	243.8	▲46.8	▲16.1%	243.1	195.6	▲47.5	▲19.5%	47.4	48.1	+0.6	+1.5%
〔その他〕	生産機械販売・不動産賃貸	4.7	5.6	+0.8	+18.8%	0.3	0.5	+0.1	+45.5%	4.3	5.1	+0.7	+16.7%
	連 結 合 計	3,120.1	3,173.8	+53.6	+1.7%	1,591.9	1,630.3	+38.4	+2.4%	1,528.2	1,543.5	+15.2	+1.0%

本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で
入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。



すべての
いのちに、
よろこびを。